

- p16 本文, 下から 5 行目  
 【誤】染色体数は  $2n=72$  の 9 倍体  
 【正】染色体数は  $2n=72$  の 8 倍体
- p21 本文, 上から 18 行目  
 【誤】  $2n=60$  の 10 倍体  
 【正】  $2n=90$  の 10 倍体
- p91 本文, 下から 3 行目  
 【誤】 分布 本, 九  
 【正】 分布 本, 四, 九
- p105 本文, 26 行目  
 (Soejia, Hasebe, ...) の Sejima の「m」抜け
- p119 ノコンギクの「同点のポイント」  
 【誤】 センボンギクとハコネギクはいずれも特殊な環境に  
 【正】 センボンギクとハマコンギクはいずれも特殊な環境に
- p149 本文, 下から 2 行目  
 【誤】 分布／北、本（近畿地方以北）、千島、カムチャツカ、サハリン  
 【正】 分布／北、本（近畿地方以北）、四、千島、カムチャツカ、サハリン
- p170 中段の右写真キャプション  
 【誤】 そう果の稜だけに腺毛がある→ユウガギク  
 【正】 そう果の面だけに腺毛がある→ユウガギク
- p252 本文, 1 段目最終行  
 【誤】 最近では命名規約によって植物学と関係のない人名を使わないようにとの勧告がある。  
 【正】 最近では植物学と関係のない人名が形容語に使われることは、少なくなってきた。
- p253 本文, 2 段目 24 行目  
 【誤】 Aster の場合は *indica*, *Kalimeris* のときは *indicus* というように変化する  
 【正】 Aster の場合は *indicus*, *Kalimeris* のときは *indica* というように変化する
- p254 本文, 1 段目 17 行  
 【誤】 すなわち *ssp. savatieri* は省略するのがふつうだ。  
 【正】 *Aster avatieri* とだけ書くと、*シュンジュギク*をも含むことになる。
- p254 本文, 4-5 段落  
 【誤】  
 種内分類群には 3 つのランクがある。亜種 *ssp.* = *subspecies*, 変種 *var.* = *Variety*, 品種 *f* = *form* である。これらは「国際植物命名規約」に定められている。しかし、定められているのはランクの順位だけである。  
 この規約に従うと、亜種の下に変種をおくことはできるが、変種の下に亜種をおくことはできない。アポイアズマギクの学名は *Erigeron thunbergii ssp. glabratus*

var. *angustifolius* である。さらにこの下に f. ○○ とつけることもできるが、これ以上長い学名は命名規約上つけることはできない。

**【正】**

よく使われる種内分類群には 3 つのランクがある。亜種 *ssp.* = *subspecies*, 変種 *var.* = *variety*, 品種 *f.* = *form* である。これらは「国際植物命名規約」に定められている。

この規約に従うと、亜種の下に変種をおくことはできるが、変種の下に亜種をおくことはできない。アポイアズマギクの学名は *Erigeron thunbergii ssp. glabratus var. angustifolius* である。さらにこの下に f. ○○ とつけることもできる。また、あまり使われないが、この間に *subvariety* など、必要なランクを増やすことも命名規約では認められている。

- p274 木 原浩→木原 浩
- p280 梅澤 俊→梅沢 俊
- p280 写真提供に「高橋 修」を加える